

Yuri's night 2005 報告書

2005/5/31

文責

Yuri's Night Japan 2005 実行委員会

代表 田中 和生

(東海大学工学部航空宇宙学科3年)

目次

- 1 . Yuri's Night Japan 2005 実行委員会活動報告
- 2 . 「日本の宇宙開発50周年記念講演会」報告
- 3 . 「Yuri's Night Party」報告
 - 3 . 1 . 札幌会場
 - 3 . 2 . 秋田会場
 - 3 . 3 . 東京会場
 - 3 . 4 . 大阪会場
- 4 . 添付資料
 - 4 . 1 Yuri's Night Japan 2005 実行委員会組織体系
 - 4 . 2 予算表
 - 4 . 3 個人支援を頂いた方のご紹介

1 . Yuri's Night Japan 2005 実行委員会活動報告

活動内容

- a) 「日本の宇宙開発50周年記念講演会」の運営
- b) Yuri's Night Japan 2005 Web サイトの運営
- c) 日本の「Yuri's Night Party」の情報管理
- d) Yuri's Night 運営資金の管理・運用
- e) Yuri's Night official との窓口

a) 「日本の宇宙開発50周年記念講演会」の運営について

この件に関しては、『2 . 「日本の宇宙開発50周年記念講演会」の報告』をご参照下さい。

b) Yuri's Night Japan 2005 Web サイトの運営について

Yuri's Night の日本での広報を主たる目的として、Web サイトの運営を行いました。今までの Yuri's Night の活動紹介や今年の Yuri's Night の情報を逐次更新し、多くの方に訪問していただくことができました。訪問数はアクセスカウンターが設置されていなかった時期があることや途中正常に表示されていなかったなどの理由から現在の Web サイトのカウンターと異なりますが、サーバ側でのアクセス数解析から 4274 アクセス（4月26日現在）になりました。

Web サイトは今後も Yuri's Night Japan 2005 実行委員会（以下、当委員会）の活動を紹介するために運営を継続いたします。

c) 日本の「Yuri's Night Party」の情報管理について

日本の全国各地で開催される「Yuri's Night Party」を一緒に楽しむために、相互の情報共有を行えるようにメーリングリストを設置いたしました。

メーリングリストは今後も当委員会の運営用として、継続して運用いたします。

d) Yuri's Night 運営資金の管理・運用について

予算表に関しては、添付資料「予算報告」をご参照下さい。

また、残金に関しましては今後の当委員会のイベント運営資金として、管理・運用いたします。

e) Yuri's Night official との窓口について

全世界的に開催される Yuri's Night Party を統括しているロレッタさんとの連絡や日本の Yuri's Night がどのように開催されるのかを報告しました。また、Yuri's Night Party の後には Party の報告を行いました。

2. 「日本の宇宙開発50周年記念講演会」 報告書

． 名称

日本の宇宙開発50周年記念講演会

． 開催時期

2005年4月10日(日)

． 開催場所

会場：東京大学本郷キャンパス(浅野地区)武田先端知ビル5F 武田ホール

． 主催機関等の名称

主催：Yuri's Night Japan2005 実行委員会

後援：宇宙航空研究開発機構・宇宙科学研究本部

秋田大学附属ものづくり創造工学センター

まんでん星

池下章裕様

． 開催目的

Yuri's Night Japan 2005 実行委員会は、Yuri's Night の日本での開催をサポートし、かつ情報共有を図っている団体である。Yuri's Night とは、1961年4月12日にガガーリンが人類初の宇宙飛行に成功したのを祝い、現在の地球社会が抱える課題を解決する機会にするため、毎年国際宇宙ステーション内や南極を含む、世界各地で開催される「全地球規模の宇宙パーティー」である。このパーティーは2000年から始まったもので、「宇宙に思いを馳せる夜」を趣旨として、日本各地でも開催されている。その流れとして、今年は特に、1955年4月12日に東大・系川研究室が「ペンシルロケット」の公開発射実験を実施し、日本の宇宙ロケット開発が産声を上げてから50年目の節目の年でもある。これを記念して、これまでの日本の宇宙開発の半世紀を講演と映像で振り返り、次の半世紀を担う若者と日本の宇宙開発の未来について話し合いを行う。このイベントが今までの宇宙開発とこれからの宇宙開発の架け橋となり、この講演会に参加した若い世代がさらに次の50年へと引き継げるような流れが生まれることを目的とする。

． イベント内容

イベント内容としては、大きく分けて三つのパートに分かれる。

まず、JAXA/ISAS ビデオ「ペンシルからM-Vへ～ロケット開発のあゆみ～」を上映し、今までの日本の宇宙開発とはどのような過程で進んできたかを振り返る。

次に、秋葉鎌二郎先生から次の50年に向けてのご講演をいただく。これは、今までの歴史を踏まえた上で我々が次に目指すものとは何なのか、そして今問題になっていることは何かについてのご講演を頂戴する。その後、松浦晋也様から日本の宇宙開発にあった分かれ道についてご講演をいただく。これまでの日本の宇宙開発にはいくつもの歴史を決める大きな選択があった。

その分かれ道を松浦様の独自の切り口でご講演を頂戴する。

最後に、ビデオやご講演を踏まえた上で次の半世紀に向けてのディスカッションを行う。我々が宇宙開発の道を切り開いた先輩方から受け継ぐべきものとこれからの宇宙開発のビジョンについて議論を行う。

当日のスケジュール

14:00-14:30 受付

14:30-14:35 主催者あいさつ (田中和生 Yuri's Night Japan05 実行委員長)

14:35-14:40 司会あいさつ (矢野創 JAXA 宇宙科学研究本部・助手)

14:45-15:20 講演 (1) 「・・・、そして次の50年は？」

(秋葉録二郎 元宇宙科学研究所所長)

15:20-15:30 質疑応答

15:30-15:55 JAXA/ISAS ビデオ「ペンシルからM-Vへ～ロケット開発のあゆみ～」

15:55-16:15 講演 (2) 「日本宇宙開発にあった分かれ道」

(松浦晋也 ノンフィクションライター)

16:15-16:20 質疑応答

16:20-17:20 パネルディスカッション「次の半世紀に向かって」

(パネリスト：秋葉録二郎 元宇宙科学研究所所長

松浦晋也 ノンフィクションライター

的川泰宣 JAXA 執行役・宇宙科学研究本部教授

モデレータ：矢野創 JAXA 宇宙科学研究本部・助手)

17:20-17:40 閉会あいさつ、今後の記念行事の紹介

(田中和生 Yuri's Night Japan05 実行委員長)

主催者側から

4月10日、東京大学本郷キャンパス武田先端知ビル武田ホールにて、日本の宇宙開発50周年記念講演会が開催されました。都内では快晴の花見日和だったのにも関わらず、100名ほどの来場者がありました。学生だけでなく、宇宙分野の教授陣、宇宙企業やIT企業の技術者の方々、各種メディアの方など、様々な年齢層や職種の方々に参加していただきました。機器システムのトラブルはあったものの、会全体としては非常に興味深い内容が多く、来場者の多くの方が熱心にメモを取られていました。

秋葉録二郎先生のご講演は、論理的かつ合理的なもので、学生たちはその思考方法に大変感銘を受けておりました。来場者の中で当時の事情を知っていらっしゃる方は時より、談笑されたりして、昔を語られていました。「人間は生き方を変えなければならないのが今の時代だ。循環型のエンジニアリングを生物から学びなさい。」

また、松浦晋也様のご講演は、過去の宇宙開発の問題を提起していただいたものであり、今後の宇宙開発を進めていく上で改めて考えなくてはならない教訓などが随所に盛り込まれ、大変興味深いものでした。会場から時折苦笑がこぼれるほど率直で斬新なご講演は、これからの宇宙開



発を担う世代は必ず認知しておくべき内容だと感じさせるものでした。

二つのご講演と、ペンシルロケットから現在に至る日本のロケット開発に関するビデオ上映を踏まえた上で、パネルディスカッションも開催しました。秋葉先生、松浦様に加え、JAXA 執行役・ISAS 教授の的川先生にもご参加いただき、二つのテーマについて、フロアの参加者の皆さんも交えて語り合いました。

まず「これまでの半世紀から引き継ぐべきもの」というテーマでは、「原点に戻って考えてみる心を持つ」という秋葉先生のご発言はまさに本質を見極め、これから我々若い世代が何をやる上でも考えるべきことだと改めて痛感しました。宇宙開発の黎明期は世界中全て個人によって始められ、今また国内の大学生によるロケットや小型衛星の自主開発や、米国の X プライズの成功など、個人で宇宙開発に参画する機運が復活してきた、というご指摘もありました。松浦様の「官がやっている間はダメだ。官は民の邪魔しないように法などを緩めるべき」とのご発言は、大学工学部生としてもとても賛同できるものでした。的川先生は JAXA 宇宙教育センターの発足を受けて、「様々な声を聞ける場所がもうすぐできる」とおっしゃられ、学生たちはそういう流れが加速していくことを大いに期待しておりました。



二つ目の「これからの半世紀で実現したいもの」というテーマでは、学生のロケット製作現場の希望から、軌道エレベータなど若い世代が抱いている将来の夢まで、幅広い内容が議論されました。その中でもやはり、自分自身の内側から湧いてくる「やる気」を将来見てみたい未来や子供に残したい世界を具体的な「ビジョン」に描くことがもっとも大切であることを痛感しました。お金がない、国が支援してくれないなど何かを理由にして諦めてしまうならば、それはそこまでの熱意であり、自分自身の甘えの裏返しに他ならないのだと気づきました。「これからの宇宙開発とは、一部の人間が行うものではなく、あらゆる分野の人間が携われることが大切である」とのご発言は主催者としてもまったく同意見であり、勇気付けられる思いでした。最後に、社内の賞品で宇宙弾道飛行のチケットを手に入れた参加者の方がご紹介されました。国に選抜された飛行士や大富豪でもない一般市民が宇宙に行かれる時代が到来したことを身近に実感した一幕でした。

司会の矢野様からも総括されましたが、一世紀という時間の流れの中で宇宙開発を見た場合、今日はペンシルロケットから始まった日本の宇宙開発で 100 年間続く「バトンリレー」の中間折り返し地点でした。第一走者である秋葉先生ら過去半世紀に活躍した先輩方から受け継いだ「ペンシルの DNA」とも言うべきバトンを、次の半世紀を創っていく未来の世代へと、我々はしっかりと渡さなくてはなりません。そのためには、我々一人ひとりがビジョンをしっかりと持ち、「自分の頭で考え、腕でものを創り、夢を実現する」努力が大切なのだと感じました。

本講演会が皆様にとって、過去の 50 年を振り返り、これからの 50 年を創る出発点になったのであれば、主催者一同大変光栄に存じます。今後もこのような企画を運営して参りますので、引き続きご支援・ご指導・ご協力のほどをよろしくお願い致します。

3 . 「Yuri's Night Party」 報告書

3 . 1 . 札幌会場

． 名称

ユーリズ・ナイト札幌

． 開催時期

2005 年 4 月 12 日 (火)

． 開催場所

会場：北海道大学 工学部

． 主催機関等の名称

主催：Space School SPlead

後援：宇宙航空研究開発機構・宇宙科学研究本部

秋田大学附属ものづくり創造工学センター

まんでん星

池下章裕様

． 開催目的

Yuri's Night Japan 2005 実行委員会は、Yuri's Night の日本での開催をサポートし、かつ情報共有を図っている団体である。Yuri's Night とは、1961 年 4 月 12 日にガガーリンが人類初の宇宙飛行に成功したのを祝い、現在の地球社会が抱える課題を解決する機会にするため、毎年国際宇宙ステーション内や南極を含む、世界各地で開催される「全地球規模の宇宙パーティー」です。このパーティーは 2000 年から始まったもので、「宇宙に思いを馳せる夜」を趣旨として、日本各地でも開催されている。

札幌会場では本団体の新入生歓迎とともに今までの宇宙開発を振り返り、宇宙開発に理解ある人々を増やし、団体の活動意義を再確認することを目的とした。

． イベント内容

本団体の新入生歓迎の一環として行った。本団体の団体紹介のあとにこれまでの宇宙開発の歴史を振り返る内容のスライドで本団体のメンバーが発表を行った。



. 当日スケジュール

SPllead 団体紹介

宇宙開発の歴史スライド

懇親会

. 主催者側から

4月12日北海道大学工学部の一教室にてユーリズナイト札幌を開催いたしました。新入生も含め15人程度のとても小規模なものでしたが、SPlleadのメンバーが今までの宇宙開発の歴史について簡単なスライドで発表を行いました。今まで宇宙についてほとんど何も知らなかった方にも、興味を持って聞いていただけたと感じております。その後の懇親会では宇宙クイズ大会を行い、大いに盛り上がり、楽しんで宇宙についての知識もつけられたものと思います。

今年は団体内での小規模な開催となりましたが、将来的にはさらに規模を大きく、一般のお客様も交えて交流し、北の地北海道で宇宙開発に理解ある方々を増やすお手伝いできればよいと考えております。これからもご助力ご叱責のほどよろしく願いいたします。

Yuri's Night 札幌

代表 菅原桂子

3 . 2 . 秋田会場

． 名称

Yuri's night 秋田会場

． 開催時期

2005 年 4 月 12 日 (火) 18:00 ~ 19:45

． 開催場所

会場：秋田大学生協 2 階

． 主催機関等の名称

主催：秋田大学天文部

後援：宇宙航空研究開発機構・宇宙科学研究本部

秋田大学附属ものづくり創造工学センター

まんでん星

池下章裕様

． 開催目的

Yuri's Night の主旨に賛同し、秋田大学天文部が中心となり秋田で Yuri's night の開催を行い世界との連携を計り、秋田で宇宙に関する知見を広める機会とすることを目的とした。秋田県は近代ロケットが初めて打ち上げられた道川海岸を有し、現在も能代に JAXA 多目的試験場があり、宇宙と関係の深い土地である。しかし普段の生活では宇宙に触れる機会も少なく、この Yuri's night を通じて、秋田が宇宙に係わってきた歴史に理解を深め、今後より多くの人が宇宙に係わっていくきっかけとしたい。

． イベント内容

まず秋田大学工学資源学部附属ものづくり創造工学センター助手の秋山演亮氏から、日本と宇宙開発の歴史、秋田で今年から開催される小型ロケットの打上及び小型自律ロボットを使った競技に関する話をうかがった。その後、秋田大学ロケット隊によるモデルロケットの打上報告が行われ、最後に宇宙クイズを通じて宇宙開発に関する理解を深めた。

社会人・学生あわせて 30 名弱がイベントに参加し、当日の様子は秋田県魁新報 4 月 16 日版に写真付きで掲載された。

秋田魁新報 4 月 16 日 16 面



．主催者側から

秋田での Yuri's night の開催は今年で 2 回目になります。今年は道川海岸でペンシル 300 が打ち上げられてから 50 周年でもあり、それを期に今年から毎年、能代市にて小型ロケットの打上及び自律ロボットを使った競技会が開催されます。

最初に秋山さんより日本の宇宙開発・世界の宇宙開発に関して簡単に説明がありました。また秋田がこれまでどのように日本の宇宙開発に係わってきたかとの説明もあり、秋田が宇宙開発の最先端であった時代のことを知りました。また現在も、JAXA の多目的試験場で再使用ロケット等、様々な新しい技術の開発がされていることがわかりました。今年から能代で開催されるイベントでは、東海大学の学生ロケットが打ち上げられるとのこと。このロケットは学生達が全て手作りで製作をしており、同じ大学生の活動ながら感動しました。また今年から秋田大学でも缶サットの製作が行われるとの話があり、能代でのイベントを通じて多くの交流が生まれる事が出来たらと考えました。

次に同じ秋田大のロケット隊の方々からの報告会がありました。現在秋田大のロケット隊では、モデルロケットエンジンを作り自分達で機体を製作し、打上を行っています。ロケット製作の話やライセンス修得の方法を知りました。ロケット隊では能代イベントと前後し、能代市で中学生を対象としたイベント等を計画しているとのこと。能代のイベントを一つの核とし、日本の宇宙開発にどんどん参加できるように、進めていきたいと思えます。また、今回の Yuri's night の参加者の多くが、その後秋田大学の缶サット製作に参加しているようです。Yuri's night を通じて、多くの参加者にきっかけが与えられたのが素晴らしいことだと思えました。このようなイベントを企画するにあたり、JAXA/ISAS の皆様を始め多くの御後援者の援助が戴け、心から感謝しております。ありがとうございました。

Yuri's Night 秋田会場代表
秋田大学天文部会長 坂本和朗

3 . 3 . 東京会場

.名称

Yuri's Night Party in Tokyo

.開催日時

2005年4月12日(火)

.会場

品川区立総合区民会館「きゅりあん」7階イベントホール

.運営

主催：Pull(きぼう宇宙討論会)

後援：宇宙航空研究開発機構・宇宙科学研究本部

秋田大学附属ものづくり創造工学センター

まんでん星

池下章裕様

.開催目的

Yuri's Nightとは、1961年4月12日にガガーリンが人類初の宇宙飛行に成功したのを祝い、現在の地球社会が抱える課題を解決する機会にするため、毎年国際宇宙ステーション内や南極を含む、世界各地で開催される「全地球規模の宇宙パーティー」である。このパーティーは2000年から始まったもので、「宇宙に思いを馳せる夜」を趣旨として、日本各地でも開催されている。

このYuri's Nightの趣旨である、「誰もが宇宙を楽しめる夜」に賛同し、今まで宇宙に興味がなかった人でも気軽に参加できるパーティーを開催する。また今年は、日本の宇宙開発50周年に当たる。それを振り返りつつ、これからの宇宙開発について気楽に、有意義に語り合ってもらえる場を提供する。このイベントによって、初めて宇宙というものを感じたり、自身の目標を再確認したり、問題発見できることを目的とする。

.イベント内容

パーティーは立食形式で、お客様にご歓談して頂きながらイベントが進行する。そのイベントの内容として、大きく3つのプログラムがある。

まずは、Yuri's Night スペシャル DVD(ハリウッド女優である Vanna Bonta 提供)の抽選会を行う。これは、「あなたの宇宙へのイメージは?」と題した質問を五択で出して、それぞれ自分の思う所に投票して頂く。そしてその中から抽選で5名様にDVDをプレゼントする、というものである。

次に、JAXA/ISAS 提供のビデオ「宇宙飛行の足跡」を上映し、世界の宇宙開発を振り返る。

これは1961年の「ポストーク1号」から「ISS（国際宇宙ステーション）」までの歴史を、映像と音楽で紹介するものである。

最後に、「Imagine」と題したスライドを上映する。これは数々の宇宙飛行士の台詞等を参考にしたスライドで、「ある青年の体験談」という形で宇宙の広大さ、地球の大切さ、戦争の愚かさを問いかける。

当日スケジュール

- 18:45 - 19:00 受付
- 19:00 - 19:10 開会の挨拶
- 19:10 - 19:20 スライド 上映
- 19:20 - 19:40 DVD 抽選会
- 20:30 - 20:45 スライド 上映
- 20:45 - 20:55 閉会の挨拶
- 21:00 解散



主催者側から

4月12日の火曜日、Yuri's Night Partyを東京の品川区立総合区民会館「きゅりあん」にて開催致しました。当日はあいにくの雨模様で、更に平日であったにも関わらず、60名余りのお客様にお越し頂きました。やはり学生が多数を占めておりましたが、社会人の方もいらっしゃいました。会全体としては終始とても楽しい雰囲気、皆さんいろんな方といろんな話をなさっていました。

最初のプログラムであるDVD抽選会では、皆さん質問に興味を持って頂きまして明るい雰囲気を作ることが出来ました。スタッフが投票の後にマイクを持って「何に投票しましたか？」などとお客様にインタビューをし、DVDが当選された方は喜んでスタッフから受け取っていたので、運営者側としても楽しみながら司会進行ができました。

スライド・ビデオ上映に関しては、10日に行われた日本の宇宙開発50周年記念講演会の反省を生かして予備のパソコンを用意したり、操作箇所を出来るだけ少なくしたりすることにより滞りなく終了することができました。スライドの内容に関しても、お客様方がどちらも興味を持って見ていただいて、上手く話のきっかけを作ることができ、スライド作成者として、大変嬉しく思っております。

このパーティーを企画するにあたって、今回、様々な方から応援やご支援を頂きました。世界中のYuri's NightをまとめていらしたLoretta Hidalgoさん。彼女はその激務の中でも、質問や要望に優しく答えてくれましたし、スペシャルDVDの中でも「Message from the sea floor」と題して、一見対極にある「宇宙」と「深海」の類似について実際に深海からレポートして下さいました。それに、抽選の賞品であるDVDを、世界中のYuri's Nightのために製作・送付して下さったVanna Bontaさん。彼女のおかげでスタッフの士気も上がりましたし、お客さんにも喜んで頂けました。他にも楽曲を提供して下さいました沢山のアーティスト、遠くアメリカやロシアからメールを下されたオーガナイザーの方々。彼等のおかげで充実したパーティーを開くことが出来ましたし、世界を身近に感じる事ができました。この場をおかりして、心から感謝いたします。

Yuri's Night Japan 2005

このYuri's Nightというイベントを通じて、世界の宇宙への思いは繋がる事が出来ると思っております。これは日本にとって、また世界にとっても大変貴重で素晴らしい機会です。今後はもっと沢山の人がYuri's Nightを知り、宇宙を知ってくれる事を、運営者一同切に願っております。

Yuri's Night Party in Tokyo代表

松村 敬太

3 . 4 . 大阪会場

. 名称

Yuri's Night 大阪会場 「手作りロケット教室！」

. 開催日

2005 年 4 月 10 日 (日)

. 会場

大阪市立科学館地下 1 階アトリウム, 展示場, 工作室

. 運営

主催 : Kansai Space Explorers

大阪市立科学館

後援 : 宇宙航空研究開発機構・宇宙科学研究本部

秋田大学附属ものづくり創造工学センター

まんてん星

池下章裕様

. 開催趣旨

Yuri's Night とは, 世界初の宇宙飛行士ユーリ・ガガーリンがはじめて宇宙に飛び出した日 (1961 年 4 月 12 日) を記念して, 2000 年より始められた毎年 4 月 12 日に行われる国際的なイベントです。人類が宇宙に第 1 歩を進めたことに思いをはせ, 身近になった宇宙を多くの人に広めようという趣旨で行われています。

またこの日は, アメリカでスペースシャトル初飛行に成功した日 (1981 年 4 月 12 日) でもあり, 日本においては初のペンシルロケットが発射実験を成功した日 (1955 年 4 月 12 日) でもあります。さらに, 今年はペンシルロケット発射実験 50 周年という記念すべき年でもあります。

そういった記念すべき年に, 子供たちをはじめとする一般の人に宇宙を身近に感じて欲しいという思いから, この国際的なイベントに連帯して「手作りロケット教室！」を開催しました。

. 「手作りロケット教室！」の詳細

「手作りロケット教室！」にて行われたイベントを紹介します。10 日は述べ 200 人もの人に来場していただきました。

(1) 「手作りロケット教室！」 (12 : 00 ~ 16 : 30)

水ロケットの製作から打ち上げまでを行うことを通して, 宇宙工学の楽しさ, ものづくりの楽しさを感じていただくために行いました。定員 30 名のところ, それを上回る 37 名に参加していただきました。

手作りロケット製作に当たりましては, YAC 横浜の皆様, JAXA/ISAS の皆様に多大な協力をいただきました。

(2) 宇宙工学史の紹介 (11:00~11:50)

Yuri's night に関連して、1200年ごろ中国で使われた火せんから、現在に至るまでの日本、世界の宇宙開発の歴史を紹介しました。特に、今年打ち上げ50周年を迎えるペンシルロケットは、実物大の模型を使って説明し、また、最近行われたH-2Aロケット7号機の打ち上げ映像も同時に紹介しました。

(3) 宇宙授業 (13:00~13:30)

ロケットの飛ぶ仕組みや、世界で打ち上げられているロケットの種類、ジェット機とロケットの違いについて説明しました。

(4) 宇宙クイズ (12:30~12:50, 13:30~13:50)

ペンシルロケットや、月、火星に至るまで様々な内容のクイズを2回に分けて行いました。

(5) 「小さなロケット展」(4月9日~17日)

ペンシルロケットの模型、H-2Aロケットの模型、モデルロケットの実物の展示、日本ロケット史のDVDの上映を行いました。展示、上映に当たっては、JAXAに多大な協力をいただきました。

展示は、4月9日~17日までの約1週間、大阪市立科学館地下1階アトリウムにおいて、行いました。



図1：水ロケット打ち上げの様子



図2：宇宙クイズの様子

主催者より

Yuri's Night は通常4月12日に行いますが、一般の人に開放的なイベントとするために2日早めて4月10日に開催しました。

当日は心配された天候にも恵まれ、また、たくさんのお客さんにも来ていただき、成功裏に終了することが出来ました。主催者一同感謝致します。

メインイベントである「手作りロケット教室！」では、真剣に自分のロケットを作ろうとしている子供に交じって、一生懸命作業している親御さんの姿が印象的でした。打ち上げを行った時には、1機打ち上げる度に歓声上がるほどの熱気に包まれ、スタッフも楽しんで打上げ作業を行うことが出来ました。

宇宙工学史の紹介、宇宙授業でも講義の後に、日本の宇宙開発に対する質問が出たり、次世代のロケットについて質問が出たりと、参加者の宇宙に対する関心の高さもうかがうことが出来ました。

Yuri's Night は世界的なイベントで、今回の大阪での開催にあたり日本を始め世界の Yuri's Night 2005 実行委員の人に協力していただきました。このようなたくさんの皆様のご協力に対して心からお礼を述べさせていただきたいと思っております。また、Yuri's Night をこれからも大阪にて引き続き開催していきたいと思っておりますので、これからもご協力、ご支援をよろしくお願いい

たします。

「手作りロケット教室！」実行委員長
Kansai Space Explorers
峰松 拓毅

4. 添付資料

4.1. 組織体系

4.2. 予算表

歳出	
項目名	金額
会場代	¥22,800
謝礼金	¥30,000
お茶代	¥900
お茶菓子代	¥946
会場使用物品	¥945
	¥55,591

歳入		
ご支援企業・団体様	金額	残金
まんてん星	¥10,000	
個人支援	¥18,000	
主催者負担	¥34,000	
	¥62,000	¥6,409

4.3. 個人支援を頂いた方のご紹介

お名前	口数
大西賢太郎	1
馬場裕之	2
河野直方	5
川島レイ	1
上杉邦憲	1
松浦晋也	8
計	18

注1 順不同、敬称略

注2 一口1000円のご支援をいただきました。